

SEMINAR

観光立国を先導する世界トップクラスの観光地域づくりセミナー in 渡島

観光が描く
地域の未来図

— 人口減少時代の新たな地域づくり

PRESENTER

赤井 義大

Discover Southern Hokkaido 会長

DATE

2026.01.07 (令和8年)

PROFILE



赤井 義大

Yoshihiro Akai

1990年生まれ (35歳)

北海道八雲町 出身

Discover Southern Hokkaido 会長、birch (株) CEO、(株)木蓮 取締役

NPO法人やくも元気村 事務局長、一般社団法人DSH 代表理事、(株)Local Revolution 社外取締役

01 TIMELINE

人生のタイムラインと価値観の形成

- **幼少期 北海道八雲町での原体験**
自然の近さが原点。「主流から外れてもいい」という価値観の芽生え。
- **高校時代 ニュージーランド留学 (NZ)**
圧倒的マイノリティを経験し、自分と向き合う時間。
- **大学時代 カナダ UBC**
世界中の人と出会い、「違いを受け入れる感覚」を養う。
- **東京での社会人生活・起業**
スピード感と学びを得る一方、自然の遠さと消耗感に違和感。人材紹介業で起業。
- **八雲町へUターン & 新たな挑戦**
「人手不足は人材紹介だけでは解決できない」と気づき、地域課題の構造的本質へアプローチを開始。

農泊 場づくり 関係人口

VISION

日々が面白くなる

“Innovation” であふれる 地域の実現



田舎 ≠ 可能性がない場所

固定観念を打ち破る



小さな挑戦の積み重ね

地域の未来を変えるプロセス

地域課題の本質

課題の本質

未来への絶望

地域住民が将来に希望を持てなくなること



未来への絶望が生まれる構造



少子高齢化

人口構造の変化



事業・商店の衰退

経済活動の縮小



不便さの増加

生活インフラの低下



諦め・絶望

「どうせ良くならない」

⌚ 負のスパイラル



未来に
期待できない



挑戦
しない



挑戦者が
生まれない



現状維持が
正解になる



地域が
さらに衰退

2018 Start

農泊としてスタート

2018年、地域の資源を活かした「農泊」事業としてプロジェクトを開始。観光客を受け入れるだけでなく、地域住民との交流を重視した体験型の滞在プログラムを展開。



観光の役割：「風を入れる」

地域にとって観光とは、単なる経済活動ではなく、新しい人、視点、機会の流入を促し、閉塞感のある地域にポジティブな変化を生み出すための「風」を入れることが私たちが目指す観光の姿。



📍 YAKUMO

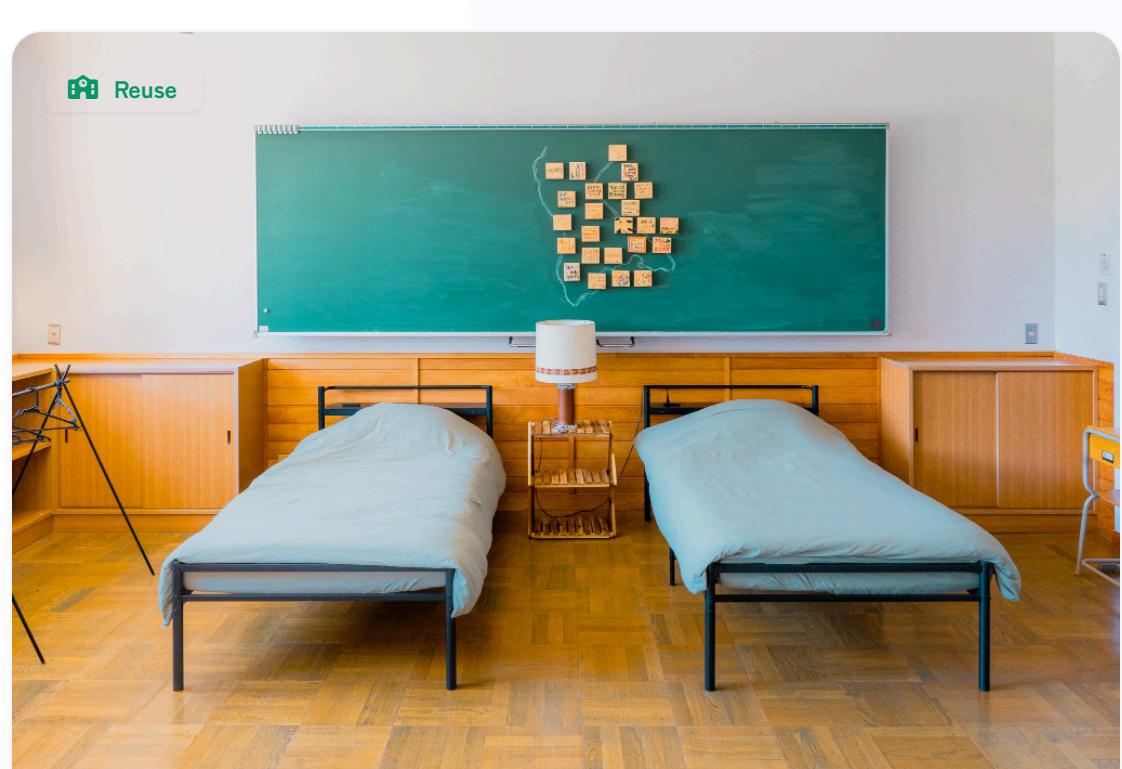
事業内容①：宿泊施設運営



Guest House & Cafe SENTO

— 銭湯 × ゲストハウス —

築100年の元銭湯をリノベーション。湯船や洗い場の面影を残しながら、地域住民と旅人が交わるカフェ&ゲストハウスとして再生。



ペコレラ学舎

— 廃校 × キャンプ&ホステル —

廃校になった小学校を活用した複合施設。教室を宿泊部屋やコワーキングスペースに、校庭をキャンプ場として活用し、学びと遊びの場を提供。

① インバウンド戦略の概要

● 地域資源を活かした高付加価値ツアー

アドベンチャートラベル（AT）や、豊かな自然・文化体験を組み合わせた高単価コンテンツを造成し、地域の魅力を最大化。

● 多言語対応・ガイド育成

外国人旅行者が安心して滞在できる受入環境の整備に加え、地域の魅力を深く伝えることができるガイド人材の育成に注力。

● 海外エージェント連携

ターゲット市場の旅行会社やメディアと連携し、効果的なプロモーションを展開することで、確実な集客チャネルを構築。



GLOBAL

探究プログラム

地域の資源を生きた教材に

八雲町の豊かな一次産業（農業・漁業・林業）や独自の歴史的背景をテーマにした、深い学びの探究プログラムを提供。教室では味わえない本物の体験をコンテンツ化。



Concept

親の仕事 × 子の学び

「二兎を追う」設計で、親は集中して働き、子は豊かな自然の中で学ぶ。長期滞在を見据えた「住・遊・学」の連携により、親子共に充実した時間を過ごせる環境を整備。



「第二のふるさと」づくり

単なる旅行ではなく、自然体験や地域住民との交流を通じて、八雲町を「また帰ってきたくなる場所」へ。子どもたちの原体験となるような深い関わりを創出。

- ✓ ワーケーション受入環境の整備とプログラム開発



FAMILY & WORK

地域との多様な関わりしろ

観光以上、移住未満。「関係人口」として地域に関わる人々を増やすため、多様な入り口を用意。



プロジェクトボランティア

イベント運営や企画のサポートなど、単発～中期間でプロジェクトに参加。



ヘルパー（短期滞在）

ゲストハウス運営や農林漁業のお手伝いをしながら、地域に「暮らすように滞在」する。



お祭りサポーター

担い手不足の地域行事に参加。伝統文化の継承に貢献しながら、深い地域交流を体験。



♥ COMMUNITY



Discover Southern Hokkaido

MISSION

“

地域を超えた連携で
“足りないリソース”を補いあう



MAIN ACTIVITIES / 主な活動内容



PR事業

地域の魅力を
世界へ発信



研修会

スキルアップと
ノウハウ共有



広域ツアー造成

自治体を跨ぐ
周遊モデル構築



コミュニティ運営

道南観光事業者の
横の連携強化

広域連携ツアー

Discover Southern Hokkaido



八雲 → 木古内 ワークーションツアー

自治体の枠を超えた連携により、単独では提供できない多様な体験価値を創出。「働く」と「旅する」をシームレスに繋ぐ新しいツーリズムの形。



滞在拠点 × 仕事環境 × 地域体験

コワーキングスペースを備えた宿泊拠点を軸に、仕事の生産性を落とさず地域の魅力を享受できる環境を整備。



移動導線の最適化と相互送客

地域間の移動自体もコンテンツ化。相互の地域資源を紹介し合うことで、面的な回遊性を高め、滞在時間を延長。

道南フェスティバルの開催

Discover Southern Hokkaido



食・文化・音楽をつなぐ広域フェス

道南エリアの多様な魅力を「フェスティバル」という形で集約し、発信。単なるイベントに留まらず、地域文化の再発見と交流の場を創出。



参加事業者の横連携と販路拡大

地域の飲食事業者やクラフト作家などが一堂に会することで、事業者間の横のつながりを強化し、新たな販路やコラボレーションを生み出すきっかけづくり。



来訪動機の創出とリピーター化

「このフェスに行きたい」という強い来訪動機を作り出し、フェスでの体験を通じて地域のファンを育成。継続的な関係性構築により、リピーター化を促進。



ビーガン推進事業

Discover Southern Hokkaido



食の多様性への対応＝選ばれる地域へ

世界的な健康志向や環境意識の高まりを受け、多様な食文化に対応できる受入環境を整備。誰もが安心して食を楽しめる地域を目指す。

メニュー開発・導入支援

地元飲食店向けに、地域の食材を活かしたビーガンメニューの開発ワークショップを開催。既存メニューのアレンジや新メニュー導入をサポート。

ガイドライン整備と発信

食材表示や調理器具の使い分けなど、受入ガイドラインを策定。対応店舗マップの作成や多言語での情報発信を行い、旅行者の安心感を醸成。



FUTURE VISION

今後の展開

持続可能な観光地域づくりに向けたネクストステップ

FEB
17

EVENT 地元学セミナーを開催

地域資源を再発見し、住民自身が地域の魅力を語れるようになるための学びの場を提供します。



道南観光推進ネットワーク参加者募集

定期メルマガ配信

最新の観光情報や支援策を共有

年1回以上の研修会

スキルアップと交流の機会

モニターツアー招待

新商品の体験とフィードバック

事業開発支援

観光関連事業の立ち上げサポート

LONG-TERM GOAL

道南広域DMCの実現を目指す



MESSAGE

道南地域の未来を良くするために 「一緒に挑戦してくれる人募集中！」



Contact & Follow Me



INSTAGRAM (DSH)

@discover.southern.hokkaido



INSTAGRAM (PERSONAL)

@yoshihiroakai



Scan to Connect

最新情報・活動の様子はこちら



Discover Southern Hokkaido